

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年4月11日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年4月8日
明治大学卒業予定年月	2027年3月
留学先大学について	
留学先国	スイス
留学先大学	スイス・アメリカン大学 (日本語名) American Institute of Applied Science in Switzerland(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/英語
留学期間	2024年9月～2025年4月
留学先大学で在籍した学年	-年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 経営学部 現地言語での名称: The Bachelor of Science in Business Administration (BSBA) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期: 9月中旬～12月上旬 2学期: 1月中旬～4月上旬 3学期: 5月中旬～8月上旬 4学期: ~
学生数	65人(大学院生含む)
創立年	1963年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (CHF) (1 現地通貨 = 172 円)	B 日本円	備考
授業料	0CHF	0 円	交換留学のため、留学先への授業料免除。
宿舍費	6,240CHF	円	780CHF/月
食費	1210CHF	円	/月(自炊中心)
図書費	0	22500 円	Kindle で購入。
学用品費	0	0 円	文房具やノートは日本から持参。
携帯・インターネット費	256CHF	円	スイス・ヨーロッパ使い放題 32CHF /月
現地交通費	700CHF	円	交通費が 1/2 になる Demi tarif を購入。 (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000CHF	円	イベントの参加費用など
旅費(留学中)	1,500CHF	円	留学中に旅した国:イギリス、ドイツ、スペイン、イタリア、チェコ、フランス
被服費	300CHF	円	
医療費		円	
保険費		66,020 円	形態: 保険会社:東京海上日動(明大サポート)
渡航旅費		152,400 円	往復チケット・変更可
ビザ申請費	150CHF	円	滞在許可書取得費用
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	11,356CHF (=1,964,026 円)	240,920 円	
総計(A+B) ※円		2,204,946 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：成田空港 目的地：チューリッヒ空港 経由地：シンガポール 復路 出発地：チューリッヒ空港 目的地：羽田空港 経由地：シンガポール
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：シンガポール空港 料金：152,400 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名：) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名： https://www.singaporeair.com/ja_JP/jp/home#/book/bookflight) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前： Hotel De La Vieille Tour) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法：
大学からの斡旋
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ホテルが学生寮として使われています。(※宿泊者は学生のみ)そのため、ホテルのツインルームにルームメイトと暮らします。また、週に一度ルームクリーニングが入ります。部屋には、デスク、冷蔵庫(共用)、クローゼット、オイルヒーターが備えつけてあります。ヒーターしかないため、冬は少し寒かったです。ブランケットを持っていくことをお勧めします。毛布を多めに欲しい場合は、清掃員に言うともらえます。また、ホテルの一階にバーがあり、夜中バーの音楽がとてもうるさかったです。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

【危険情報の収集】外務省の防犯メール「たびレジ」の登録。留学先の安全情報がメールで届きます。

【防犯対策】セキュリティーポーチの使用。治安の悪い地域について事前リサーチ。

留学中に、スイス国内・ヨーロッパ内で犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

私は、SALTと呼ばれる現地のキャリアを使用していました。スイス内の大手キャリアとして、Swiss Com, Sunrise, Saltがあります。一番接続が良いのがSwiss Comですがその分値段も高いです。

Saltの接続は悪いと言われていますが、私が使っていて特に不便さは感じませんでした。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

スイス滞在中、現地の銀行口座は開設せず、日本にいる時から使っていたソニー銀行とWISEを活用しました。ソニー銀行のデビットカード(Visa)はスイス国内の多くの店舗でそのまま使用でき、為替手数料も比較的安く済むため便利でした。WISEは、スイスの寮費の振込など、国際送金が必要な場面で特に重宝しました。レートが良く、手数料も明確なので安心して使えました。現地の銀行口座がなくても、これらのサービスを組み合わせられることで問題なく生活することができました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

スイスでは変換プラグや充電コードなどの電子機器関連の小物がとても高価です。特に家電量販店で購入すると、日本の2~3倍以上の値段がすることもあります。そのため、日本から事前に変換プラグや充電ケーブル、予備のアダプターなどを持参することをおすすめします。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: Tiffin University の授業の履修制限。AUS で専門科目の授業の開講はなく、		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Building and Leading Teams		
科目設置学部・研究科	BSBA	
履修期間	Fall Term	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回	
担当教授	Sanja Fabrio	
授業内容	このコースでは、チームの形成、チームでの作業、チームのリーダーシップ、および複数のチームの管理に関する学習とベストプラクティスに焦点を当てています。また、仮想チームでの作業、チームコミュニケーション、チームダイナミクスの処理、およびチーム管理のヒントと注意点などの専門的なピックもカバーします	
試験・課題等	s 中間試験: グループプレゼンテーション 期末試験: 口頭試験	
感想を自由記入	口頭試験緊張したけど、大丈夫だった。 良いチームの形成方法などとても有効的なことをまなぶことができる。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Management	
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Ruby Bakshi Khurdi
授業内容	このコースでは、組織運営に必要な基本的な管理の原則と実践的な手法について学びました。組織の将来的な成長に向けた計画策定、効率的な組織化と人材配置、効果的なリーダーシップ、動機づけのテクニック、そして業務の管理・統制方法に重点が置かれています。現代のマネージャーに求められる幅広いスキルを理論と実例を通して理解しました。
試験・課題等	中間試験・期末試験:筆記
感想を自由記入	現代のマネージャーに求められるスキルを理論と実例を通じて理解することができました。マネジメントの全体像を体系的に学び、実務にも応用できる知識を身につけることができたと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Law	商法
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mr. Artur Decurtins
授業内容	契約法、不動産法、会社法の基礎を学んだ。契約法では、契約の成立要件や違反時の救済措置について扱った。不動産法では、所有権の移転や賃貸借契約、不動産取引に関する法的枠組みを学習した。会社法では、会社の種類や設立手続き、取締役の責任、株主の権利など、企業活動に必要な基本的知識を学んだ
試験・課題等	中間試験・期末試験:筆記
感想を自由記入	この授業では、スイスの契約法、不動産法、会社法の基礎について学びました。契約法では、契約の成立要件や違反時の救済措置について理解を深めました。不動産法では、所有権の移転手続きや賃貸借契約、不動産取引における法的枠組みについて学習しました。会社法では、会社の種類や設立手続き、取締役の責任、株主の権利など、企業活動に必要な基本的知識を習得しました。スイスにおける実務に直結する法的知識を体系的に学ぶことができ、有意義な時間となりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Project Management	プロジェクトマネジメント
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Mario Saba
授業内容	この授業では、プロジェクトマネジメントの基本と、それに伴う実務上の課題への対処方法を学びました。プロジェクトのライフサイクル(立ち上げ、計画、実行、監視、終了)を段階的に学ぶことで、現実的かつ実践的な視点からプロジェクトを遂行するための知識とスキルを習得しました。計画力、リスク管理、進捗管理など、マネージャーとして必要な能力を体系的に学ぶ貴重な機会となりました。
試験・課題等	中間試験: パソコンでの筆記試験 期末試験: プレゼンテーション
感想を自由記入	この授業では、プロジェクトマネジメントの基本から実務上の課題への対処方法まで幅広く学ぶことができました。プロジェクトのライフサイクル(立ち上げ、計画、実行、監視、終了)を段階的に学ぶことで、理論だけでなく、現実的な視点からプロジェクトを進めるための具体的な知識とスキルを習得できました。特に、計画力、リスク管理、進捗管理といったマネージャーとして必要な能力を体系的に学べたことは非常に有意義でした。実際のプロジェクトにどう適用するかを考えることで、より実践的なスキルを身につけられたと感じています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principle of Athletic Development	
科目設置学部・研究科	Tiffin University
履修期間	Fall Term
単位数	3
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン授業 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 3 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	試験はなく、毎週課題が与えられてそれ提出する。
感想を自由記入	アスリートの育成について学ぶことができました。 授業の配信はなく、自分で教科書を読んで課題を提出する形式だったので、少し物足りなく感じることもありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Marketing Principle	マーケティングの原則
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Winter Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Ruby Bakshi Khurdi
授業内容	マーケティングの基本概念と戦略を学ぶコースで、製品(Product)、価格(Price)、流通(Place)、プロモーション(Promotion)の「4P」を中心に、市場調査やターゲット設定、ブランド構築などの実践的スキルを習得しました。ケーススタディを通じて、理論と実践を結びつけながら学ぶことができました。
試験・課題等	中間試験:筆記 期末試験:プレゼンテーション
感想を自由記入	マーケティングの基本概念から戦略的な応用まで、幅広く学ぶことができました。実際の企業事例を扱ったケーススタディを通じて、理論だけでなく現場でどのように活用されているかを学べたことで、マーケティングの奥深さと面白さを実感しました。将来的に自分のビジネスに活かせるような知識を多く得ることができ、とても有意義な授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Business	ビジネス入門
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Winter Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	教授と学生のディスカッションを通じた講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Sanja Fabrio
授業内容	ビジネスの基礎を幅広く学ぶコースで、国内外の経済環境におけるビジネスの役割や、起業・経営に関する基本的な課題とチャンスについて理解を深めました。戦略、マーケティング、財務、人材管理、オペレーションといった主要なビジネス機能について包括的に学び、ビジネスの全体像をつかむことができました。
試験・課題等	中間試験:筆記 期末試験:口頭試験
感想を自由記入	自分自身のビジネスプランを準備し、クラス全体に向けてピッチを行う経験はとても貴重でした。クラスメイトのユニークなアイデアからも多くの刺激を受け、学ぶことが多く、とても興味深い時間となりました。さらに、実際の起業方法についても学ぶことができたため、起業に対するイメージがより具体的になり、自分にもできるかもしれないという自信につながりました

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Planning and Budgeting I	ビジネス計画と予算管理 I
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Winter Term
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mario Saba
授業内容	このコースでは、新規ビジネスの立ち上げや既存ビジネスの成長に向けたロードマップについて学びます。財務資源をいかに効率的に使うかや、市場調査方法を学び、期末試験では、投資家に向けた実際のビジネスプランの作成と発表をグループで行いました。
試験・課題等	中間試験:筆記(授業で習ったことについて) 期末試験:グループプレゼンテーション
感想を自由記入	授業で学んだ内容をもとに、実際にビジネスプランを作成し、期末試験ではビジネスピッチ(プレゼンテーション)を行いました。実際に自分のビジネスプランを考えることで、理論だけでなく、それをどう現実に応用するかを体感的に学ぶことができました。また、アイデアを形にするプロセスや、相手に伝える力の重要性も実感し、非常に実践的で充実した学びとなりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Skills	異文化スキル
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Winter Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Katarzyna Grzesik-Harz
授業内容	グローバルな環境でのリーダーシップに必要な異文化理解とコミュニケーション能力を高める内容でした。自己の文化的背景を振り返ることで自己認識を深めると同時に、異なる文化に対する理解と適応力を高めるための具体的なフレームワークや実践的なツールを学びました。
試験・課題等	中間試験:プレゼンテーション(日本文化について授業で習ったことをもとにプレゼン) 期末試験:グループプレゼンテーション(映画を選び、文化的側面から分析し、発表)
感想を自由記入	文化の違いについて、「文化的次元(Cultural Dimension)」の枠組みを用いて学ぶことができました。文化の背景にある理論や価値観を知ること、相手がどのように感じるのか、また国ごとの行動様式の違いを理解することができました。この学びを通じて、国際社会で活躍するための土台が築けただけでなく、世界の中の日本の立ち位置や自国の文化についても振り返る良い機会となりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Critical and Creative Thinking	批判的・創造的思考
科目設置学部・研究科	BSBA
履修期間	Winter Term
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Eleanor Khonje
授業内容	情報を客観的かつ多角的に評価する力を養いました。固定観念にとらわれず、さまざまな価値観や文化的背景を理解することで、複雑な問題に対する柔軟なアプローチや革新的なアイデアを生み出すスキルを培いました。ディスカッションや課題を通じて、自分の思考の枠を広げる貴重な機会となりました。
試験・課題等	中間試験: 選択問題、T/F、口頭試験 期末試験: 選択問題、T/F
感想を自由記入	この授業を通じて、批判的・創造的思考を養うためのさまざまなテクニックを学ぶことができました。現代の情報社会において、膨大な情報をただ受け取るのではなく、自らの視点で吟味し、新たなアイデアを生み出す力は非常に重要だと改めて実感しました。また、教授はユーモアに富み、エネルギーで、学びの場を常に明るく前向きな雰囲気にしてくださったので、毎回の授業がとても楽しく、意欲的に取り組むことができました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	奨学金の申請準備
留学開始年	1月～3月	航空券の購入
	4月～7月	滞在先確保
	8月～9月	滞在許可書の申請
	10月～12月	中間試験/期末試験
留学/帰国年	1月～3月	滞在許可書の取得 中間試験/期末試験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がスイスアメリカン大学を選んだ理由は、大きく3つあります。

一つ目は、多文化環境での学びに魅力を感じたからです。スイスにありながら、アメリカ式の教育スタイルを取り入れているこの大学は、世界中から学生が集まっており、自然と異文化理解力や国際感覚が養われます。グローバルなキャリアを目指す上で、国籍や文化の違う人たちと共に学ぶ経験はかけがえのないものです。二つ目は、少人数制による密度の高い授業です。教授との距離が近く、授業中に意見を交わす機会も多いため、単なる知識の習得だけでなく、自分の考えをしっかりと表現する力も身につきます。アクティブ・ラーニングの環境が整っている点も、他の大学と比較して魅力的でした。

三つ目は、スイスという安全で美しい環境で生活できることです。治安が良く、自然に囲まれた静かな町で学ぶことができます。もちろん、どんなに安全な国であっても油断は禁物ですが、私は危険な経験や怖い思いをすることは一切ありませんでした。また、ヨーロッパ各地へアクセスしやすいという地理的メリットもあります。

【スイスアメリカン大学の注意点】

スイスアメリカン大学に関心がある学生は、公式ホームページから現地の学生リクルーターとオンライン面談を予約することができます。この際に注意してほしいのが、オンライン面談での学生リクルーターの案内は事実と異なる点が含まれているという点です。私自身、事前のオンライン面談で「履修できる」と案内された授業が、実際には開講されておらず、大変落胆した経験があります。また、学部に関する情報には誤解が生じやすいです。大学のホームページには複数の学部が掲載されていますが、これらの専門科目は実際にはアメリカにある提携校「Tiffin University」のオンライン講義です。リアルタイムの授業ではなく、事前に録画されたビデオを視聴したり、講義動画はなく各自で教科書を読みながら課題に取り組む形式で、対面授業とは大きく異なります。スイスアメリカン大学の校舎で対面で開講されているのは、BSBの科目のみです。さらに、在籍学生数は非常に少なく、キャンパスはこぢんまりとしています。さらに、在籍している学生の約80%はアラブ系またはアフリカ系の正規留学生であり、スイス現地の学生やヨーロッパ諸国、英語圏からの留学生はほとんど見かけません。交換留学生についても、私が滞在した時点では明治大学からの学生のみで、基本的にキャンパスにいるのは全員が長期の正規生でした。

留学生生活全般へのアドバイス

留学生生活を充実させるためには、いくつか大切なポイントがあります。まず、自分が留学で何を学びたいのか、将来それをどう活かしたいのかという目標を明確にしておくことが重要です。目的がはっきりしていれば、学びへの意欲も高まり、日々の行動にも意味が生まれます。また、授業以外の活動にも積極的に参加することです。学内イベントだけでなく、地域の交流会などに関わることで、語学力やコミュニケーション力が自然と伸び、貴重な人脈も築くことができます。また、お金の管理も欠かせません。スイスは物価が世界で1番高いと言われていています。事前に予算を立てて計画的にお金を使い、自炊をするなどして節約することが求められます。最後に、何より大切なのは柔軟な心を持つことです。異なる文化や価値観に出会うことで戸惑う場面もあるかもしれませんが、それを前向きに受け入れることで、自分自身の成長にもつながります。失敗や困難さえも貴重な経験として楽しむ姿勢が、充実した留学生生活をつくる鍵だと思います。